



# 月次景況調査結果

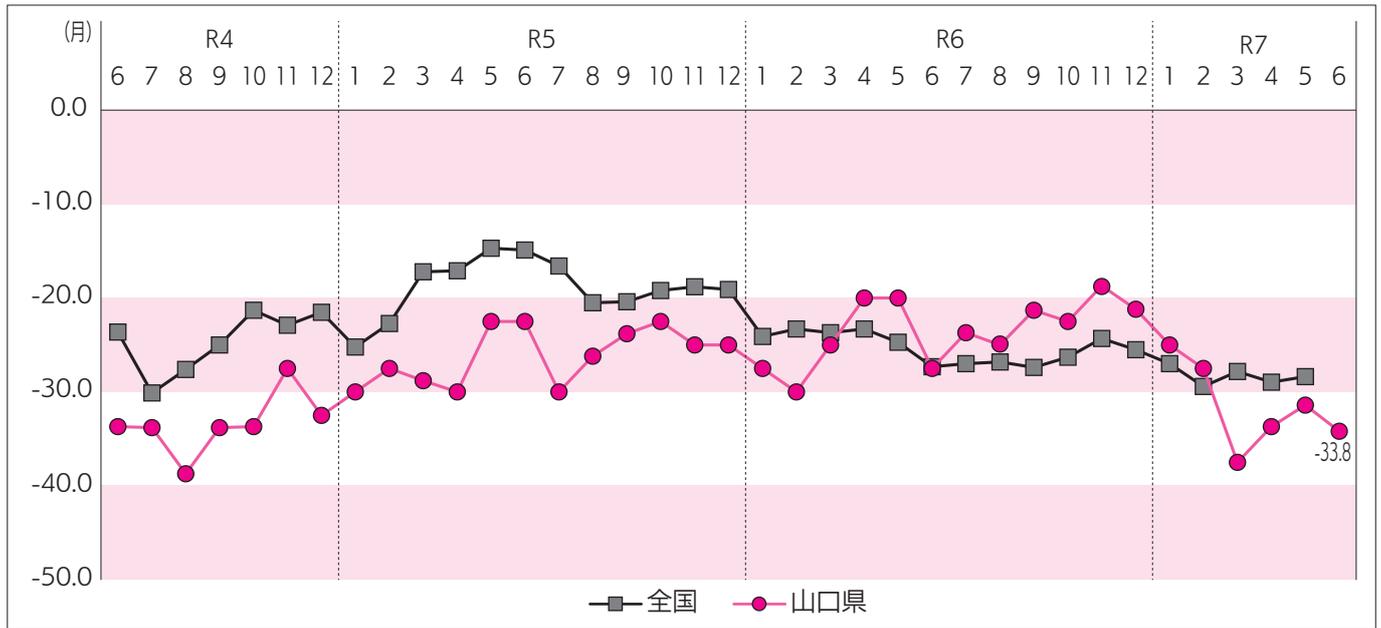
令和7年6月期

製造業・非製造業ともに、売上高が増加した業種と減少した業種があるが、いずれも原材料費の高騰や人手不足による人件費・外注費の増加等により収益面では厳しい状況が続いており、景況DI値は低い水準に止まっている。

深刻な人手不足が事業運営に大きな影響を与えていることや、物価高や猛暑により消費需要に減少傾向も見られること、さらには米国関税の動向を懸念するなど、先行きを不安視する報告が多く寄せられている。

## 業界の景況DI値の推移 — 全国平均との比較 —

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。  
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



## 項目別のDI値

項目	前年同月比		前月比
	R 7.5月	R 7.6月	
売上高	▲20.0	▲30.0 ☁	↘
在庫数量	▲12.0	▲10.0 ☁	↗
販売価格	31.2	26.2 ☁	↘
取引条件	▲12.5	▲16.3 ☁	↘
収益状況	▲31.3	▲27.5 ☁	↗
資金繰り	▲15.0	▲12.5 ☁	↗
設備操業度	▲21.9	▲12.5 ☁	↗
雇用人員	▲13.8	▲18.7 ☁	↘
業界の景況	▲31.2	▲33.8 ☁	↘

### DI値

30以上…………… ☁ -30以上-10未満 ☁  
 10以上30未満…… ☁ -50以上-30未満 ☁  
 -10以上10未満… ☁ -50未満…………… ☁

## 業種別 業界の景況DI値

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	▲37.5 ☁	→
	繊維工業	0.0 ☁	→
	木材・木製品	▲50.0 ☁	↘
	印刷	▲50.0 ☁	→
	窯業・土石製品	▲50.0 ☁	→
	一般機器	▲25.0 ☁	→
	輸送機器	▲33.3 ☁	↘
	非製造業	卸売業	▲60.0 ☁
小売業		▲42.9 ☁	→
商店街		▲50.0 ☁	↘
サービス業		▲9.1 ☁	↘
建設業		▲27.3 ☁	↗
運輸業		▲28.6 ☁	→
その他		▲100.0 ☁	→

月次景況調査結果特記事項【令和7年6月期】

山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	調味料製造業	県内全域	米不足の影響からか、味噌の売れ行きが悪化している。
	パン・菓子製造業	宇部・山陽小野田	7月に開催される契約栽培のもち米価格が1.8倍に上昇するとの内示を受けた。組合員にとっても、手数料収入が収入源である組合にとっても厳しい状況である。
		下関	原材料費の高騰が続いている。ガソリン価格は下がりつつあるが、光熱費は上昇傾向。
	水産食料品製造業	下関	円安は少しずつ回復傾向にあるものの、原料や水道光熱費の高騰や、人件費の上がり幅が大きいため、商品の値上げが追いつかない状況。商品の単価設定を見直していく必要がある。例年6月は、商品の動きが鈍化する時期。ゴールデンウィーク後であることや、夏休みに入る前の月ということもあり売上増加は望めない。さらに気候も不安定な時期のため、難しい月である。夏休みやお盆に向けての準備を進めていく予定。
	精穀・製粉業	防府・山口	2025年6月の売上については、全国的に慢性的な米不足が続き、農協の概算金が大幅に上昇したことにより売上高の増加が見込める状況となった。ただ、いままでの肥料・農薬・燃料代などの上昇分を吸収できるくらいとなるため、利益率については変更が無い。例年に比べ、異常な高温の日が長く続いたせいやお米の等級については、昨年より低下することとなった。新たな農林水産大臣が就任し備蓄米を機動的に放出する体制が整ったが、そもそも備蓄量が、日本の年間消費量の2ヶ月分程度しかないため、食料安全保障という観点からは4ヶ月分くらいの在庫がほしいところ。ロシアがウクライナに侵攻して3年が経過したが、新たに就任したアメリカのトランプ大統領が停戦にむけて意欲をみせるなど、戦局に変化が現れている。イスラエルがイランを攻撃し、アメリカも参戦するなど、中東情勢の悪化に伴う世界情勢が混とんとして、原油・天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って肥料価格が前年比160%アップという驚異的な結果となっている。とくに、ガソリン価格の対策費の継続と食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが、必要となる。日本の発電における化石燃料の割合は、約70%と世界的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力などによる発電に関するカーボンの比率を70%にさせるなどの改善が必要である。トランプ大統領が、相互関税を導入するなど、保護主義が強まっている。世界的な景気後退に関する懸念が広がっている。
	食料品製造業	下関	気象変動の乱れが野菜だけではなく魚介類にも及んでいる。長年使用し続けていた仕入れ商品が、漁獲高が激減した影響で突然仕入れ不可能になった。今後もそのような食材が増加し、代用品でも賄いきれなくなると、営業の存続自体が危なくなってくる。そうならないよう祈ることしかできないのが辛い。6月は大口の注文が多く、稼働日数が減ったにも関わらず売上高が昨年並みとなった。ありがたい現象ではあるが、オーバーワークにならないよう、気を付けていきたい。
繊維工業	外衣・シャツ製造業	防府・山口	先が見通せない状況が続く。
	帆布製品製造業	宇部・山陽小野田	社員募集するが反応がないため人手不足が解消出来ず、外注先に頼らざるを得ない。売上は年始よりは回復してきた。
木材・木製品	製材業・木製品製造業	下関	組合員7社の平均値は、売上額（前年同月比）10%減であった。
印刷	印刷業	下関	印刷業界は相変わらず原材料の高騰に加え、従来の紙媒体印刷物の減少により厳しい状況が続いていることには変わりはないが、経営の合理化、多角化も徐々に経常化してきており、今後の収益の柱となる部門への大胆な業務のシフトも現実味を帯びてきているケースも見受けられる。いずれにしても、インフレ懸念のある状況下で国民の生活を豊かにできる政策や手法が行政の最優先で取り組むべき課題であると思われる。
		防府・山口	昨年同様の仕事が確保でき、工場も月末から月初にかけ稼働率が上がった。

月次景況調査結果特記事項【令和7年6月期】

山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	県内全域	原材料価格の高騰（セメント・重油等）・賃金アップ・人材確保などの理由により、4月から15%程度の値上活動を実施している。
		防府・山口	昨年度は特需があり前年比▲65%の出荷量であったが、今年度は通常年と変わらず、低迷した動きとなっている。
	生コンクリート製造業	県内全域	出荷量は、前月比74%、前年同月比69%であった。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。一部の地区で値上げの動きがある。
	石工品製造業	防府・山口	2025年6月1日より企業における熱中症対策が義務化されたが、当組合のように個人経営者の集まりで出来た団体では、それぞれ以前より気温・湿度・体感の変化により、こまめに休憩を取るようになっている。熱中症対策を進めることも大切だが、併せて温室効果ガスの削減に取り組むべきではないかと感じる。
陶磁器・同関連製品製造業	萩・長門	萩焼祭りが終わり、萩焼業界では在庫を積む期間になっている。ゴールデンウィークのおかげで、資金繰りは好転のまま1か月を終えることができた。売上高自体は減少しているものの、プールがある為在庫づくりに没頭できた。釉薬や粘土の価格など、値上がりした価格で安定しはじめたので、先を見越して動きやすくなった。販売価格・取引条件・収益状況は不変であった。	
一般機器	一般産業用機械・装置製造業	周南	5月より続いていた周南コンビナートの大型定修工事は6月中旬以降に終盤を迎え、6月末には全体が落ち着き、前年同月と同程度の稼働状況に戻っている。本年度下期は大型案件も少ないようで、不安を感じている企業が多い。
		防府・山口	良い意味でも悪い意味でも、大きな変化はない。昨今の原材料費や外注加工費の高騰から、内製強化に伴う設備投資や人的投資の財源確保が難しくなっている。自動車関連企業からの受注が減少傾向にある。大手各社の今季業績見通しが不透明な中、長期化する様であれば業績にも影響が出始めるため、動向を注視している。受注量は変わらず多いが、得意先の操業度は低い所が多くなっているため消耗品の受注が少ないようである。働き方改革により、建設現場の稼働に影響が出ているためと思われる。従業員募集で応募者は多いがマッチするような人材は少なく困っている。
		宇部・山陽小野田	ロシアのウクライナ侵攻、アメリカのトランプ政権が進める関税政策、イラン、イスラエル戦争へのアメリカの参戦など世界情勢は混沌としており、世界経済の見通しも下方修正され、日本経済への影響が今後どの程度あるか不透明な点があり慎重に見極める必要がある。それにより設備投資等が低調になることがあれば、景気状況が大幅に悪化することが懸念され、当面インバウンド需要が旺盛なサービス業を除き、人材のだぶつきが発生することも覚悟しておく必要があると考えている。当該組合員の各業種とも当面の事業量を確保しており、人材の確保に苦慮している。特に、介護、サービス業の外国人人材への切り替え需要が多い。しかしながら、他国に比しての低賃金の影響は大きく、ベトナムでは高賃金の韓国への希望が高い。また、賃金は日本より低い簡易な手続きで、なおかつ規制も緩く、長期に滞在できる台湾、シンガポールの人気も高くなっている。今後は多数の若年人口を抱えるインドネシア、インドへシフトせざるを得ないが、現状の賃金環境が継続するといずれは行き詰る。従って、諸外国に劣らないような高賃金体制にすることが急務である。また、日本国内での賃金格差の解消にも早急に対処する必要があるが、既に全国の地方都市では人材不足が顕著になっており自治体間競争が始まっている。従って、安定的人材確保を目指して、従来から交流のあるベトナムのビンズン省に加え、インドネシア中部ジャワ州送り出し機関との連携を行い、賃金対応のみならず多文化共生社会づくりへの対応による生活環境・文化環境・教育環境・日本語教育等の充実による魅力づくりに取り組んでいる。
		宇部・山陽小野田	今のところ大きな変化は見られないが、中東情勢の緊迫化により今後の状況が読みづらくなっている。
		周南	地元の大学生が地元の企業に就職する率が低く、人材不足を助長している。
下関	職能の検定員不足について、他組合や他企業はどう思っているのか聞いてみたい。実技検定員不足を補う為に、70歳制限を撤廃すべきではないかと感じる。企業の社長も70歳越えても現役の方が多数おり、引退してもその技能を他で使えるならより良いのではないかと感じる。歳を重ねた分だけ経験値・実務能力があり、70歳で終わらせてしまうのは勿体ないと感じる。		

月次景況調査結果特記事項【令和7年6月期】

山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
輸送機器	鉄道車両・同部品製造業	周南	鉄道車両関係では、全体の受注量は減少傾向にあり大幅な受注減の見通し。2025年度11月頃から受注増加の予定ではあるが、本格的な稼働は2026年度以降になる見通し。人件費や原材料費・電気料等の高騰および借入金の金利上昇圧力もあり、収益面で厳しい状況が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測よりも受注量が減少。今後もしばらくは低位に推移すると推測される。
卸売業	乾物卸売業	防府・山口	約2年間安定した倉庫運営が続いている。6月は全般的に例月通りの入出庫があり、在庫も95%前後となっている。各業者、売れ行きが好調とは言えない状況で、大幅な出庫数の増加とはなっていない。
	生鮮・魚介卸売業	下関	市場への入荷が少なく厳しい状況が続く。中旬はマグロの入荷があり持ち直した。後半は巻き網の入荷が増えてきているが、全体としては減少傾向にある。
	各種商品卸売業	防府・山口	ほとんどの事業所があまり好転するような兆しはなく現状維持の状態。
	各種商品卸売業	防府・山口	販売価格の上昇により、売上高が鈍化傾向にある。
小売業	化粧品小売業	下関	県内の化粧品専門店の売上状況は、前年より僅かに減少。まだまだ生活必需品や光熱費などの価格が高いため、買い控えが続いていると推測される。例年よりも早めの梅雨明けとなったので、これから日焼け止めや取れん化粧水などの季節商品が売れてくることに期待。業界では、最近は肌測定などに力を入れており、よりパーソナルな化粧品やお手入れ方法を紹介している。SNSや肌診断の機械などのデジタルの進化により利便性や満足感を体感していただくことで、信頼感や期待感から来店回数を増やしていき、生涯顧客を増やしていくことが重要になってくるとと思われる。
	各種商品小売業	萩・長門	令和7年6月の売上は対前年+0.2%増加。人手不足により月1日の全館休館日を設けており、営業日が1日減少したこと、昨年度入れ替えとなった旧2店舗が前年は閉店しており、新店はGWのみ営業していたことが要因と考えられる。ただ、売上高の増加が来店者の増加（+5.0%）に追いついておらず、景況感は引き続き厳しく感じられる。蒲鉾店の練物商品が、6月より10%程度の値上げを実施している。
		下関	6月の売上高は前年比101.3%、来店者数は前年比98.5%であった。お米の入荷が週1日（数量限定）となっている。
商店街	岩国市	岩国・柳井	大型連休が明けた直後は消費心理が抑制されるためか、一時的に市況は停滞する。一連の米騒動・物価高騰・賃金高騰など、消費を喚起する流れは見当たらない。そこへ異様な猛暑が拍車をかけ、人々の動きは鈍い。商店街や周辺は、店主や家主の高齢化に伴って業種業態構成が大きく変化し、外国人向けの夜型の街へと変貌した。これに応じて商店街振興の在り方、軽トラ市の定期開催など計画や目的を見直していく必要があると感じる。
	周南市	周南	駅前1番街アーケードの撤去により、雨天の人通りが銀座のアーケードに戻ってきてはいるが、7月に閉店する店舗もあり物価高騰などの波が押し寄せていると実感する。7月には毎年恒例の夏祭りもあるので、どうにか頑張っていきたい。
	山口市	防府・山口	気温が異常に高いため、高齢者が買い物に出てこないので商店街は昼間人通りがない。来店客数も大幅に減少している。
	萩市	萩・長門	売上高については不変であったが、経費・原価が上昇しており、経常利益は厳しくなっている。利益の安定を図る事を考えなくてはならない状況。
	下関市	下関	商店街の来街者は減少しているが、7月からの土曜夜市・ポイント祭りや、8月の数方庭祭等のイベントが開催されるため来街者増加に繋がることに期待。

月次景況調査結果特記事項【令和7年6月期】

山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	美容業	周南	6月は雨が少なかった影響か、昨年比で売上が微増であった。
	理容業	防府・山口	物価高騰の影響で、依然として厳しい状況が続いている。
	自動車整備業	県内全域	山口県の令和7年4月の新車新規登録台数は、登録車2,404台で対前年同月比100.8%のプラス、軽自動車も1,879台で対前年同月比104.4%のプラスとなり全体では102.4%のプラスで今年に入って5ヶ月連続のプラスとなり出荷台数等もほぼ安定してきた状況とみられる。一方、トランプ関税は依然不安要素をもたらし、特に自動車業界は影響が計り知れないため、妥結に向け動向を見守っているところ。更には中東情勢もアメリカの参戦により更なる悪化が懸念される状況にある。いずれにしても今後も注視が必要。
	スポーツ・健康教授業	岩国・柳井	春に行ったキャンペーンの成果が表れ、会員数は前年同数に落ち着いた。Web広告を活用するなど、夏以降の入会につながるようイベント内容だけでなく広告方法の工夫も進めている。
	普通洗濯業	県内全域	6月は遅れてきた繁忙期といった形で、売り上げが前年同月に比べて上がっている組合員が増えた印象である。しかしながら、繁忙期前半（4月5月）に苦戦したことと物価がそれ以上に上がっていることから、依然厳しい状況が続いている。
	飲食業	防府・山口	6月は雨が少なかったおかげか、通年より人出が多かった模様。
	旅館業	萩・長門 下関	6月は14%の減少と非常に入浴者が減少している。原因は不明だが猛暑の影響が考えられる。原油高の影響は大きく、収益状況は悪化。 例年6月は観光客が減少傾向にあるが、今年は特に家族連れが1～2割減少した。近隣の水族館の改修の伴う閉館や、大阪万博の影響かと思われる。
建設業	電気工事業	防府・山口	中電への工事申請119件（当支部106件）、前年同月111件（同101件）。太陽光発電への申請16件（前年25件）、オール電化申請49件（前年41件）。LED街路灯への切り替え・新設申請43件（前年18件）であった。
	左官工事業	岩国・柳井	某経済新聞に、工事の発注者に対してゼネコンが値上げを求めた記事が掲載されていた。また、ゼネコンに対しても専門工事業者が値上げを要求している旨の内容が追っており、ここ数年の安値受発注の構造に変化が現れるものと期待している。
	管工事業	周南	工事現場における交通誘導員を含めて人手不足が続いている。熱中症対策も欠かせない。
	鉄骨・鉄筋工事業	県内全域	地域によって公共工事、民間工事ともに見積案件が希薄な状況。県域全般においては大手企業の設備投資に伴い若干の物量が見受けられるが、組合員の工場稼働率100%に繋がる程の物量ではないと感じている。仕事量が減少していることは間違いのないため、組合員間の価格低下の競争原理が働きかねない状況。今こそ適正価格での対応が必要な時期と考える。
	一般土木工事業	岩国・柳井 萩・長門 萩・長門	国内の基幹産業の自動車関連では、日産自動車が2万人もの人員整理を行うと発表した。すそ野の広い自動車産業には、未曾有の改革が始まりそうである。土木建設業も、公共事業の底は脱したかに見えるが、利幅の低迷からの脱出には、まだ時間がかかる状況である。 7年6月の受注高は対前年同月101.8%、今年度の累計は対前年比122.7% 6月に各自治体の発注高が増加したため、第1四半期の長門地区の公共事業発注高は例年通りの発注高に回復した。

月次景況調査結果特記事項【令和7年6月期】

山口県中小企業団体中央会

大分類	具体的業種	地域	特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
運輸業	一般貨物自動車運送業	周南	油の価格は落ち着いたが、物流は思うように伸びない。今現在、物は動いていないのではないかと思うほど輸送量が減少しており、なかなか運賃へと結びつかない状況である。
		宇部・山陽小野田	輸送においては、一般貨物全般が低迷しており、距離の少ない輸送で効率よく利益を残していかななくてはならない。倉庫保管案件は安定している。乗務員不足は相変わらず継続している。
	一般乗用旅客自動車運送業	周南	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+1.9%（令和7年5月1日～令和7年6月20日分 今期27,290千円 前期26,774千円）だった。5月1日～5月31日分は、+2.0%（今期 16,638千円 前期 16,313千円）。6月1日～6月20日分は、+1.8%（今期 10,652千円 前期 10,461千円）。4月分はマイナスだったが、5月・6月は微増になってきた。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市・光市・下松市・防府市の地域である。5月分については、周南+6.7%、下松+12.3%、光▲0.7%、防府市地区が▲6.1%で、組合員の全域では+5.3%、地区外（員外）▲17.3%、合計+2.0%（+325千円）だった。 タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって、慢性的・危機的に不足している。乗務員の人件費が歩合給であって、勤務する乗務員の収入は悪くないのですが、総額収入金額が増加しないのに、会社の運営経費は増加し続けているため、タクシー事業者の多くが赤字経営となっているようで、過去に積み上げた資産を取り崩しながら、ようやく運営しているといった状況。乗務員や後継者がいない事や、今後回復の見込みが立たない事から、老舗のタクシー事業者が廃業を決定した。個人タクシーも1人廃業。以前は営業権が高額で譲渡されていたが、今は無料でも引き受け手が見つからない状況。既に、タクシー事業所が無い地域や、夜間はタクシーを配車できない地域もあり、過疎化や地域景況の衰退を加速させる事になっていると思われる。
	港湾運送業	宇部・山陽小野田	今月の取扱高は一部の荷主が生産調整した影響もあり、対前年比で若干減少となった。
その他	介護事業	防府・山口	他業種では、原材料費や人件費上昇に対し不十分ながらも価格転嫁が進んでいるようであるが、医療・介護業界では報酬は介護保険という国が決めた価格であるため転嫁しきれず、また、原材料費・エネルギー価格の高騰や、人手不足による人件費の増加等により収益は悪化している事業所が多い。収益の減少と人材確保が困難な状況の中で、今後の事業運営を懸念する報告が多く寄せられている。